

## 令和6年 新年挨拶

戸沼岩崎建設株式会社 代表取締役社長 戸沼 淳



今年もまた、皆さんと新しい年を迎えることができますこと、改めて感謝申し上げます。当社は今期創業90周年、株式会社設立70周年の記念の年を迎えます。ここ数年死亡災害が続いていて、社内では安全パトロール、安全教育、着手時の検討会に力を入れております。皆さん一人ひとりが当事者意識をもって災害防止に向き合っていただければと思います。

今年度の工事は、現場内での土砂崩落、支障物件、地先の要望などがあり、当初の工程や施工方法では工事ができない現場を多く抱えております。目先のことに囚われることなく遠回りに見えても、作業の安全、顧客の最終利益を考えた行動が、スムーズな工事の完成、また利益の確保にもつながっていくものと思っております。

国内経済は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、活動が活発さを取り戻してきております。様々な行事が復活しており、円安も手伝って函館管内も外国人をはじめ、観光客で賑わっております。一方で人手不足は深刻化しており、ホテルなどは全室での営業を見合わせたり、宴会を取りやめるなどの影響が出てきております。建設業でも人手不足の問題は喫緊の課題になっており、残業規制等2024年度問題は運送業はじめ、幅広い分野で仕事のやり方の変革を求められております。建設業では早くからICTやプレキャスト化など省力化に取り組んでおりますが、工事の工期、製品の納期などは認識を改める必要が出てくると思っております。

政治面ではパーティー券の扱いが大きな問題になっておりますが、政治家の中では慣例として認識されていたのではないかと思います。ロッキード問題、リクルート問題はいずれも辰年におきています。自民党政治も厳しい局面が予想されますが、復調気配の経済に影響がなければと願っております。それぞれの組織・企業の常識と世間の常識の認識の違いが大きな問題につながる場合が多くあります。ISOの外部審査やクレームなどは、貴重な外部の意見になります。真摯に向き合っていくことが独りよがりにならず、

100年続く企業への道につながると考えております。

今年の干支は、『甲辰（きのえ・たつ）』で「春の日差しが、あまねく成長を助く年」をあらわしているといわれています。春の暖かい日差しが大地すべての



# 安全と衛生



向春号

戸沼岩崎建設株式会社 発行

令和6年2月13日

<http://www.tonuma.com/>

第262号



ものに平等に降り注ぎ、急速な成長と変化を誘う年になるということです。すべてのものに平等に降り注ぐということは、これまで陰になっていた部分にも日が当たり、報われ大きな成長を遂げるといったことが期待できます。また逆に、自分にとって隠しておきたい部分にも日が当たり、大きな変化が起きる可能性もあるということです。皆さんの成長が、会社や地域社会の発展に寄与できますことを祈念いたしまして、年頭の挨拶にしたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願い致します

(令和6年1月5日朝礼 社長挨拶から)



## 渡島・檜山地域の労働災害発生状況

函館労働基準監督署管内(渡島・檜山地区)における令和5年1年間の労働災害発生状況(速報値)が発表されました。

全産業の休業4日以上労働災害は777人で前年同比406人減少しました。死亡労働災害は5人減少し、水産業1人、保険衛生業1人、畜産業1人の3人が亡くなりました。



休業4日以上労働災害の「事故の型」別では、多い順にそのほとんどがコロナウイルス感染症に係る「その他」が263人、「転倒」が162人、「墜落・転落」80人となっています。また、業務中の交通事故に労働災害は、畜産業1人の死亡事故を含め22人でした。

建設業では死亡災害はありませんでしたが、建設業の4日以上休業災害は前年同比13人多い85人でした。土木工事業は前年同比10人少ない24人でしたが、建築工事業は前年同比9人多い32人、木造建築業は前年同比7人多い9人、その他の建設業は前年同比7人多い12人名でした。

12月1日～3月31日は「北海道冬季ゼロ災運動」の期間です。凍結等による転倒災害、雪下し作業対策及び除雪作業時の重機災害、自動車のスリップや吹雪等による交通労働災害、一酸化炭素中毒災害など冬季特有の労働災害防止にも取り組みましょう。

## 建設業年度末労働災害防止強調月間(3/1~31)

例年、年度末は完成時期を迎える工事が増加し、さまざまな作業が輻輳して繁忙度が増し、工事関係者の注意力が低下しやすい時期です。

建設業年度末労働災害防止強調月間の要領を確認し、店社パトロールの強化や作業手順書の遵守徹底、安全教育の充実等に努め、無事故・無災害で新年度を迎えましょう。

1. 経営トップ等による年度末現場点検の実施。
2. 墜落・転落災害の防止。
3. 建設機械・クレーン等災害の防止。
4. 倒壊・崩壊災害の防止。
5. 飛来・落下による公衆災害の防止。
6. 交通労働災害の防止。
7. 火災・爆発等災害の防止。
8. 転倒災害の防止。
9. 不安全行動による災害の防止。
10. 安全衛生教育の推進。
11. 職業性疾病の防止。
12. 化学物質に関するリスクアセスメントの実施。
13. 現場におけるメンタルヘルス対策の推進。
14. 健康障害防止対策の充実。



市川の沢災害復旧工事(函館市)

## 令和5年度後期 ISO内部監査

当社はISO9001(品質)、ISO14001(環境)、ISO45001(労働安全衛生)の要求事項に従って必要なプロセス及び相互作用を含む統合マネジメントシステムを職員が監査員を務め、年2回内部監査を行っています。職員同士が互いの施工活動を監査することでISO規格への理解を深めると共に自らの施工活動で不十分な点を見つけ出すのに役立っています。

今回は、奥尻災害関連、文教通、栄海岸、市川の沢、赤石地区、北進平取3、東和地区、マルトヨ渡島土木松前町社宅新築工事の土木7現場・建築1現場と、土木、建築、オフィスの3部門、管理責任者の内部監査と進み、マネジメントレビューを経て、日々の業務にフィードバックされます。



3・4・47文教通改良工事(下部工) (函館市)



栄海岸津波・高潮対策工事(函館市) 内部監査